

令和 6 年度(2024 年度)高校講座実施報告
(12 月分)

●宮城県 私立仙台大学附属明成高等学校(令和 6 年 12 月 2 日)
講演テーマ: 外務省の仕事について～国際社会における日本代表～
講師: 大臣官房 国際報道官室 岩渕系 課長補佐



●宮城県 公立仙台南山高等学校(令和 6 年 12 月 3 日)
講演テーマ: 外務省の仕事について～国際社会における日本代表～
講師: 大臣官房 国際報道官室 岩渕系 課長補佐



●大分県 県立別府鶴見丘高等学校(令和6年12月4日)
講演テーマ: 外交という仕事～世界に目をむけてみよう～
講師: 大臣官房 国内広報室 高田法子 課長補佐



●福岡県 県立育徳館高等学校(令和6年12月5日)
講演テーマ: 外交という仕事～世界に目をむけてみよう～
講師: 大臣官房 国内広報室 高田法子 課長補佐



●神奈川県 県立横須賀高等学校(令和6年12月9日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 小林久美子 主査



●埼玉県 県立大宮光陵高等学校(令和6年12月17日)

講演テーマ: 外務省の仕事

講師: 軍縮不拡散・科学部 軍備管理軍縮課 殿村さおり 主査



●大阪府 私立大阪学芸高等学校(令和6年12月18日)

講演テーマ: 外交について

講師: 大臣官房 国内広報室 小林まどか 外務事務官



●兵庫県 国立明石工業高等専門学校(令和6年12月18日)

講演テーマ: 世界における日本～世界市民として高校生の今できること～

講師: 大臣官房 情報通信課 木下誠 主査



●大阪府 東大阪市立日新高等学校(令和6年12月19日)
講演テーマ: 外交について
講師: 大臣官房 国内広報室 小林まどか 外務事務官



●兵庫県 県立北須磨高等学校(令和6年12月19日)
講演テーマ: 世界における日本～世界市民として高校生の今できること～
講師: 大臣官房 情報通信課 木下誠 主査



●東京都 都立江北高等学校(令和6年12月23日)

講演テーマ: 外務省の仕事と役割

講師: 大臣官房 在外公館課 在外勤務支援室 山崎太 課長補佐



参加者からの感想(抜粋)

- 外務省が外国との関係構築や交渉をしていることが毎日を現地邦人の安全にも関わっているというのがとても印象に残った。今ある平和を当たり前とは思わず1日1日を大切にしていきたい。
- 自分の想像していた外交官の仕事と講師が話してくれた実際の仕事が大きく違ったことが印象的だった。条約締結や通訳などのイメージが強かったが、日本文化の紹介なども行っていることに興味をもった。
- 外務省の仕事は国同士の架け橋であり、大きな責任も課されてとても大変なお仕事だと思った。また同時に大きなやりがいを感じられる魅力もあるのだと思った。
- これからインターネットが普及した時代ではさらに多くの偽情報があふれると思うが外務省からの正しい情報以外にも自分で調べた情報が正しいかどうかを判断できるようにしていきたい。
- 外務省が、クール・ジャパンや伝統文化などを通して日本について理解を深めてもらうために活動をしていること初めて知った。また海外との違いを認め、お互いを尊重することの大切さも知ることができた。
- 外務省の仕事について興味を持った。自分のやりたい気持ちがあれば自由に仕事を選んでいいのだなと少し背中を押された気がした。進路について悩んでいるが、自分

の夢を実現させるために興味や好きなことを原動力に頑張りたい。

- 外務省での仕事には様々な内容があるが、やはり日本国外と結びついている以上一つ一つの行動に大きな責任が伴うと感じた。特に講師が海外で話す際には主語を「日本」にするとっており、仕事に対する大きな責任感を感じた。
- 高等専門学校から外務省に入ると、どのような職種につけるのか、どんなキャリアを描くことになるのかを知ることができ、将来の視野が広がったように感じた。
- 外務省が「秘密結社鷹の爪」の吉田くんを ODA マンに任命していたのを始めて知り、難しい印象だった外務省にアニメとの関係があることに驚いた。多くの幅広い仕事があり、国内広報活動もあるなど、とてもやりがいのある仕事なのだと興味を持った。
- 自分は英語と経済が好きなので外務省はこの好きなことを活かせる職業だと知り、興味をもった。これを機に、自分の将来について再度考えたい。
- 「外」務省は海外に関わることばかりやっているのかと思っていたが、日本国民のために活動していることを知った。ニュースで聞く海外の状況を詳しく聞くことができ、国際理解が深まった。